

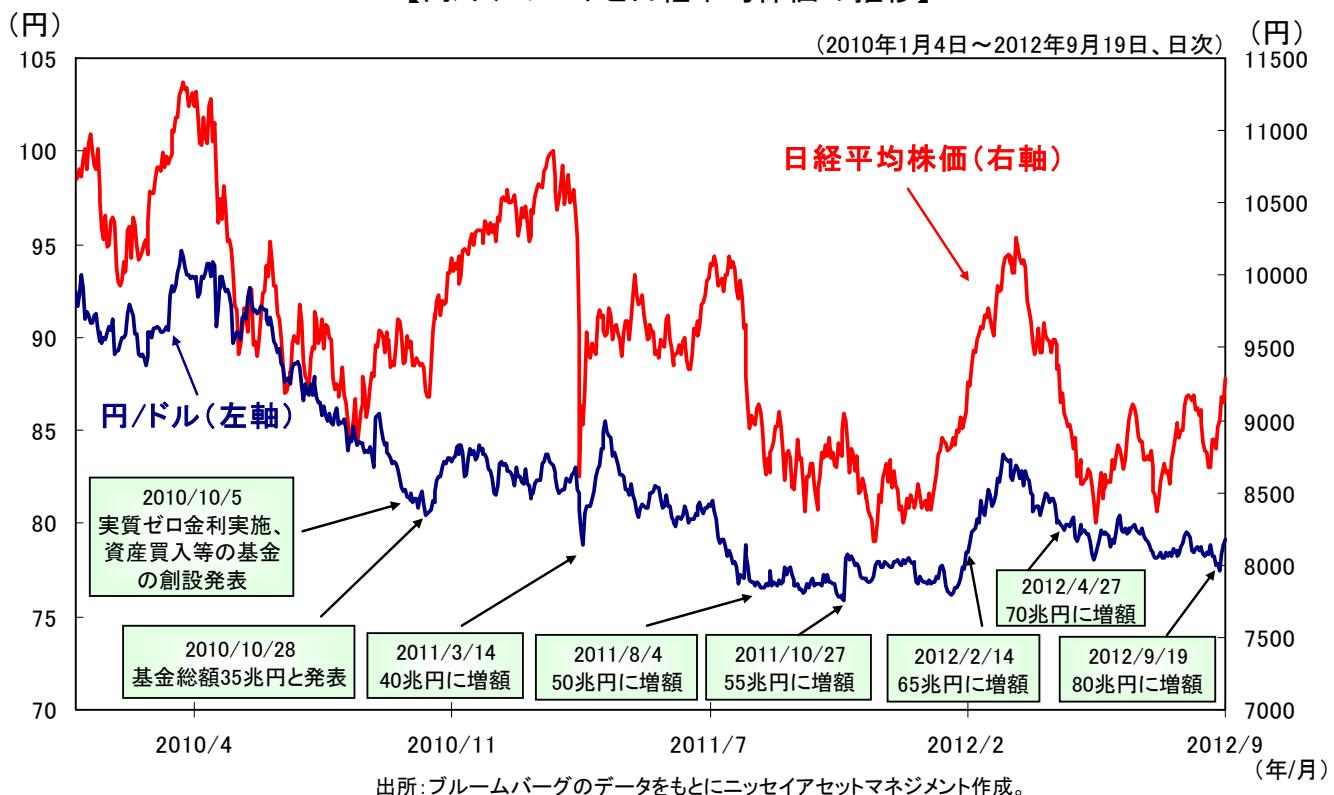
# 金融市场NOW

Financial Market Review vol. 72

## 日銀の追加金融緩和と今後の相場について

- ✓ 日本銀行は9月19日の金融政策決定会合で、資産買入等の基金の総額を従来の70兆円から80兆円に増額する追加金融緩和を全員一致で決定しました。主な内容は長期国債、短期国債をそれぞれ5兆円増額するというものです。
- ✓ 日銀は2010年10月に35兆円で基金を創設して以来、今回を含め6回の増額を行ってきました。基金の増額は、主に円高/ドル安・国内株安の局面において打ち出され、結果として為替市場や株式市場をサポートしてきたと思われます(下図)。
- ✓ 9月6日に欧州中央銀行(ECB)が「無制限の国債購入」を、9月13日には米連邦準備理事会(FRB)が「量的緩和第3弾(QE3)」をそれぞれ決定し、欧米中央銀行が相次いで積極的な金融緩和策を打ち出すなかで今回の日銀の決定会合は注目を集めていました。発表後の市場の反応は、為替市場で1ドル78.6円から79.2円近辺へ円安/ドル高が進行、株式市場では日経平均株価が前日比108.44円高の9232.21円(終値)に上昇しました。
- ✓ 今月は日米欧の新たな金融緩和策が出揃うことになりました。今後については、世界的な金融緩和の動きにサポートされ、年末から来春にかけて、国内株式市場は穏やかに上昇、また、為替市場では、他に本邦経常収支黒字の縮小なども背景に、緩やかな円安/ドル高で推移すると予想します。

【円/ドルレートと日経平均株価の推移】



出所:ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成。

当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

&lt;審査確認番号H24-TB51&gt;